

公益財団法人第一三共生命科学研究振興財団
2020年度 研究助成応募者選定ガイドライン

第一三共生命科学研究振興財団の研究助成の応募者の選定に当たり、下記のガイドラインに基づき、公正、かつ公平に選定をお願いいたします。

推薦書作成に推薦書様式のワードファイルを必要とされる推薦者は、財団ホームページ (<http://www.ds-fdn.or.jp>) の「研究助成推薦書雛形」からダウンロードして下さい。

記

1. 推薦者の資格

当財団の理事会において指定された全国の生命科学分野の大学大学院研究科長、研究機関長並びに当財団の評議員、理事、顧問及び褒賞受賞者（高峰記念三共賞・高峰記念第一三共賞受賞者）。

2. 推薦数：推薦者の推薦件数は、原則1件とする。

3. 応募期間：2020年4月1日から2020年6月30日まで

4. 応募者の選定基準

- (1) 当該助成応募の対象となる研究テーマが、当財団の設立趣旨に合致し、先進性、独創性を有していること。
- (2) 研究計画が具体的であり、また、研究成果が将来、臨床応用、創薬に波及が見込まれること。
- (3) 応募者の研究業績が優れており、当該研究計画を遂行できる能力を有し、準備状況が示されていること。
- (4) その他、応募者を特に推薦する理由を示すこと。

5. 応募者の対象範囲

日本国内在住の研究者で50歳未満(2020年4月1日現在)の研究者を対象とします。

6. 応募者の選定除外対象

- (1) 同一の研究について他の財団の助成金を受けている研究
- (2) 医療機器分野、看護分野、食品科学（健康食品を含む）分野、農薬分野
- (3) 国及び他機関より多額の助成金を得ている共同研究
- (4) 営利団体、企業の研究機関に所属している者
- (5) 当該助成採択後3年以内の再申請（2018年度以降の採択者）
- (6) 当財団に対して、2021年度海外留学奨学研究助成との重複申請
- (7) 原則として、推薦者と同一の研究室に所属している者
- (8) 推薦者、財団関係者（評議員、理事、選考委員、顧問、褒賞受賞者）並びにその親族（当該推薦者、或いは財団関係者以外の推薦であれば可）

以上